

# あなたの家の近くで一緒にご飯食べよう！

最近誰かのご飯を食べていない。

外に出ようと思っても出る機会が無い。

悩みや相談をしたいけど、畏まった所に行くのは嫌だ。

→貴方の家の近くの飲食店でご飯を食べながら話しましょう！（徒歩10分圏内）

悩みの解決は出来ません。

でも一緒に悩むことは出来ます！

一緒にご飯を食べることは出来ます！

一緒にいることは出来ます！

対象は

15歳から25歳までの若者なら誰でもOK

(※食事代は自分が食べた分のみお支払ください)

最大90分間！

秘密厳守！

問い合わせ  
フォームは  
こちら



**タイトル：あなたの家の近くで一緒にご飯食べよう！**

**なぜその提案(できること・取り組みたいこと)を思いついたのか：**

相談窓口が増えているにも関わらず、生きづらさを抱えている若者が増えていると考えた時に、若者にとって相談窓口に行くハードルは何かを考えた。おおよそ以下に集約されるのではないかと考えた。

- ①時間、距離の問題（億劫さ）
- ②何かを言われてしまう恐怖心、不安感
- ③相談に行く恥ずかしさ
- ④本人が必要性感じてない
- ⑤窓口の情報を知らない

上記の問題に当てはまらない方法を考えた時に、今回の取り組みを考えた。相談者の家の近くにある飲食店と設定する事によって、①の時間や距離の関係で相談を躊躇っている若者も通いやすく、相談者の馴染みのある開かれている空間の為、②③の恐怖心や不安感、恥ずかしさを比較的和らげることが出来ると考えた。

また④は難しい問題だが、相談という文脈では必要性を感じていなくても、「他の人とご飯食べたい」「1人だと入りにくい飲食店に入りたい」などのニーズから利用に繋がるかもしれないと考えた。

**その提案を実践することで地域がどのようになればよいと思うか：**

生きづらさを抱えている若者が、他の方と繋がり、少しでも前に進むことが出来れば、地域で活躍出来る若者や地域の担い手が増えていく可能性がある。

また飲食店を利用することによって飲食店の活性化や相談者が相談員以外とも顔の見える関係を築ける可能性があり、引きこもりや生きづらい若者への理解が進む地域になっていって欲しい。